

# 東海道新幹線新駅対策特別委員会会議録

令和4年3月4日

寒川町議会



出席委員 天利委員長、山田副委員長  
小泉委員、山上委員、橋本委員、横手委員、岸本委員、黒沢委員  
佐藤（一）議長

説明者 廣田拠点づくり部長、臼井倉見拠点づくり課長、川部主査

案 件

1. 新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等について  
(拠点づくり部倉見拠点づくり課)
2. その他

午前9時00分 開会

【天利委員長】 皆さん、おはようございます。ただいまより、東海道新幹線新駅対策特別委員会を開催いたします。

本日の案件は、次第のとおり、その他を含めて2件になりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

それでは、執行部が入室するまで暫時休憩といたします。

---

【天利委員長】 それでは、休憩を解いて会議を再開いたします。

まず初め、案件1となります。新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についての説明を求めます。

廣田拠点づくり部長。

【廣田拠点づくり部長】 おはようございます。ただいまより、拠点づくり部倉見拠点づくり課所管の新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についてということでご報告いたします。説明に当たりましては、臼井課長より行います。よろしくお願いをいたします。

【天利委員長】 臼井倉見拠点づくり課長。

【臼井倉見拠点づくり課長】 おはようございます。12月会議から3か月が経過いたしました。

まず初めに、12月の特別委員会の中でご報告いたしました県と町の動きにつきましては、10月20日に発足した県、町で構成するツインシティ倉見地区まちづくり検討会にて、倉見地区のまちづくりに関連する南のゲートとしての骨格道路などの都市施設の配置について、県環境共生都市課や寒川駐在事務所と話し合ってきました。また、地元協議会においては、昨年11月25日に第2回幹事会を開催し、その会議の中で、幹事の方からは、何をいつまでにするのか計画的なものが必要なのかなどスケジュールに対するご意見、何かないとイメージが湧かない、今後意見を出すために図面、絵などを資料として示してほしいなど、まちづくりに対するご意見をいただきました。町では、後で報告させていただきます役員会等に向けて、航空写真に駅舎などを描いたイメージパースや、倉見地区の将来像を検討していくための図面等の作成や、県や地元協議会の会長と話し合っていました。

それでは、経過の内容につきまして、ただいまよりご報告いたしますが、後段では今年度の取組予定

を新年度の事業計画にどう結びつけていくかお話しさせていただきます。

それでは、前回12月6日の特別委員会以降の経過等につきまして、ご報告をさせていただきます。経過につきましては、タブレットの01、新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についてに基づき、ご報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

まずは12月28日でございます。県と平塚市、寒川町で構成するツインシティ整備調整協議会が、書面による会議で開催されました。役場内にあります県の寒川駐在事務所における本年度の事業実施状況及び予算未執行額の取扱い、来年度の予算の考え方についてでございます。本年度の事業につきましては、寒川町産業まつりでの普及啓発活動や講演会などの事業が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となり、県、平塚市、寒川町の3者で負担している今年度100万円ずつの負担金を50万円ずつ減額する提案がなされ、書面による臨時総会に諮ることといたしました。

続いて、1月13日、地元組織である東海道新幹線新駅誘致地区周辺まちづくり連絡協議会の今年度3回目となります役員会を倉見地域集会所で開催いたしました。第3回協議会・幹事会開催に向けての事前確認でございます。幹事会の開催予定は2月3日で調整しておりましたが、1月21日に特措法に基づくまん延防止等重点措置が適用されたため、延期とさせていただきます。できることならば今月中に開催できないか、役員の方と調整をしております。

続きまして、2月10日には、県環境共生都市課と寒川町で構成するツインシティ倉見地区まちづくり検討会を開催いたしました。検討会では、今後の県、町のスケジュールの共有を図るとともに、県提案の道路施設の配置方針の取組方などについて、共通認識を持つべく話し合いをしたところでございます。

続きまして、2月25日でございます。県期成同盟会幹事会が書面会議で開催されました。PDFファイルは、01の資料1、2ページから9ページに資料をおつけしてございます。

主な内容といたしましては、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、県内選出の国会議員及び関係省庁への要望活動につきましては、郵送での実施に変更したほか、イベント等の普及啓発活動におきましても中止・縮小しております。そのため、事業費等の支出に未執行額が生じたことから、今年度の負担金を50万円減額し総額310万円とし、県及び会員市町の負担金を割合に応じて県が180万円から25万円を減額、会員10市町はそれぞれ18万円から2万5,000円を減額する提案がなされ、書面による臨時総会に諮ることといたしました。

記載された内容の報告については以上となりますが、今後につきましては、地元連絡協議会の役員会を3月10日に開催する予定で、幹事会の開催について及び1月13日の役員会で、役員の方から、まちづくりの絵を描くのはどう考えたらいいのか、どうイメージしたらいいのか、そういったところを手助けしてほしいなどのご意見をいただいたことを踏まえ、地区の将来像を検討していくための事例紹介をし、ゾーニング案、またそれを支える都市施設などについて話し合う予定となっております。また、昨年からは幹事の皆様と調整を行っている各ブロックの協議会の開催についても、新型コロナウイルス感染症の感染者数等、状況を見ながら実施してまいりたいと考えております。

ブロック協議会の内容につきましては、新駅設置までのスケジュール感や都市計画の制度の解説を加えながら、まちづくりのプランを話し合える環境の整備に努め、地元の理解をより深めてまいりたいと考えているところでございます。また、前回の特別委員会でご報告いたしました次世代層との意見交換

の実施につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により見合わせておりますが、感染者数の状況を見ながら、実施に向け関係者と調整を図ってまいりたいと考えております。

なお、先ほど申し上げましたゾーニング案、またそれを支える都市施設について、幹事の皆様から直接的なご意見を伺う場面を年度の最後の取組として進めてまいりたいと考えており、ひいては新年度からの倉見地区の土地利用、将来の絵姿の具現化に向け努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

最後となりますが、平塚市大神地区の情報をご報告させていただきます。県と町をはじめとする関係9市等では、神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会を組織し、東海道新幹線新駅を寒川町倉見地区に誘致するため、倉見地区と相模川対岸の平塚市大神地区を新たな橋で結び、環境と共生する魅力ある都市づくりを目指すツインシティの整備などに取り組んでいるところです。

先月の新聞で平塚市のイオンモールの建築着工が取り上げられていましたが、平塚市のツインシティ大神地区のまちづくりについては、平成27年8月に市街化区域編入の都市計画決定とともに、平塚市ツインシティ大神地区土地区画整理組合の設立が認可されました。ツインシティ大神地区土地区画整理事業の総事業費は約219億円で、造成工事はおおむね終了し、現在は道路、公園等の都市基盤整備が進められております。立地企業については、令和元年11月の三井不動産の開業を皮切りに、令和2年12月に信濃運輸、昨年3月に日本G L P、5月に大和ハウス工業の一部が開業するなど、着実に建築工事が進んでおります。また、商業施設のイオンモールについては、令和5年春の開業を目指し、建築工事が進んでいます。

町としても、平塚市大神地区のまちづくりや周辺地域との交通アクセスなどの整備が進んでいくことで、倉見地区の魅力アップにもつながっていくものと期待しております。

報告については以上となります。よろしくお願いいたします。

**【天利委員長】** ありがとうございます。

それでは、説明が終わりました。これより質疑に入りたいと思いますが、質疑はございませんでしょうか。

橋本委員。

**【橋本委員】** 9分の4ページの6番についてお聞きします。新幹線新駅誘致に関するアンケート調査というところですが、このアンケートの内容について少し具体を教えてください。

**【天利委員長】** 川部主査。

**【川部主査】** これは同盟会のほうで行っているアンケートでございまして、主に普及啓発の仕方についてのアンケートを行ったというところは伺っております。

以上です。

**【天利委員長】** 橋本委員。

**【橋本委員】** もう少しアンケートの内容というか、質問内容に関して何か情報として分かれば、教えていただきたいんですけども。

**【天利委員長】** 川部主査。

【川部主査】 すみませんでした。アンケートの具体的な中身につきましては、まずはアンケートに答えていただける方の年齢とか性別、出身、そういったところでございます。それ以外は、例えば倉見駅に新幹線の新駅を誘致していることを知っていますかということとか、誘致をしようとしていることを知ったきっかけは何ですかとか、よく移動する手段、鉄道なのか、バスなのか、そういった質問と、広告についてどういった形で目にしているんですかとか、あとは同盟会の事務局のほうで、映画館の映画が始まる前の広告事業をやっているんですけど、それについてよく行く映画館とか、よく見る映画とか、そういったものを聞いたりしております。あとは普及啓発以外ですと、新幹線の新駅ができると、全国の主要都市への移動時間が短縮されるんですけど、それによって県央・湘南地域はどう変わりますかとか、そういった質問を今回行いました。

以上です。

【天利委員長】 橋本委員。

【橋本委員】 ありがとうございます。今、そういった内容をお聞かせいただいたんですけども、それを今後、アンケートを基にフィードバックして、どのような形で集約して生かしていくとか、そういった今後の展望とか、そういうのを分かる範囲内で結構ですので、教えていただければと思います。

【天利委員長】 アンケートをまとめているようなものはないのかな。

川部主査。

【川部主査】 すみません。事務局のほうで基本的にこれからどう使っていくかというところを考えていくんですけど、まずは普及啓発を効果的に、より新駅の誘致をして活動しているということを知ってもらうための方策として、例えば一番よく目にする広告とかCMとか、そういったものを活用していくための一助となるような使い方をしていくと伺っています。

以上です。

【天利委員長】 他に質問はございますでしょうか。時間はたっぷりございますので、安心して発言してください。ないですか。

臼井課長。

【臼井倉見拠点づくり課長】 すみません、先ほど冒頭、本日の特別委員会の案件の説明をさせていただいた中で、平塚市大神（おおがみ）地区とお話しさせていただいていたところなんですけれども、大神（おおかみ）地区ということで、大変申し訳ございません、訂正のほうをよろしく願いいたします。申し訳ございません。

【天利委員長】 大神地区のところなんです、ツインシティというところで、向こうの状況を知っておいたほうがいいだろうというところで、委員長と副委員長からお願いをさせていただいておりますので、その点ご了承いただければと思います。よろしくお願ひします。

ございませんでしょうか。

横手委員。

【横手委員】 先般あった地域公共交通会議というのが、今後、議案が可決されれば設置されることになると思うんですけども、その中で新幹線新駅と、随分先の話になるから、今すぐそこが議題になっ

てくるかどうか分からないんですけども、ただ、ＪＲ東日本の倉見駅とＪＲ東海の新駅、倉見駅という名前になるか分かりませんが、その関係を考えてときに、今のＪＲ東日本の倉見駅の在り方みたいなものを町としてどのように捉えていくのかというところ、これを地域公共交通会議の中で議題の一つにしていくべきではないかと思っていますところがあります。

というのは、分かりやすく言うと、僕なんか横浜なのであれなんですけど、新幹線の新横浜駅、その昔、新幹線の新横浜駅も全てが止まっていたわけじゃないんですけども、そんなわけで結構、ＪＲ東日本の新横浜駅というのはちょっとどうなのかなという感じの駅だったんです。寂しい感じの。当時つくられたときは国鉄ですから、同じ会社だったんですけど、それが分割民営化されて他の会社になったところで、ＪＲ東海は当然メインが新幹線ですので、そういう意味でいうとどんどん新横浜駅がよくなっていく中で、ＪＲ東日本の新横浜駅もだんだんそれに合わせる形で今すごいきれいな駅になって、それからもちろんその周りも本当に、当然あれだと思うんですが、ＪＲ東海の新幹線駅に引っ張られて、そこまで発展したとは思いますが、そうじゃないＪＲ東日本のほうもかなりしっかりと開発をされてきている。そんな意味で、そういう相関性も含めてどういうふうに捉えているのかお聞かせいただけますでしょうか。

**【天利委員長】** 交通会議自体で審議をされているところでございますので、分かる範囲でよろしいですかね。

川部主査。

**【川部主査】** 今現在、都市計画課のほうで地域交通計画をつくるための会議をする条例のほうをされていて、これから最終的には地域交通計画をつくっていかれるかと思うんですけど、まだ具体的に調整はしてないんですが、当方の課としての考え方としましては、新幹線ができることによって県央・湘南地区のハブ、交通結節点となる位置づけもございますので、駅を利用してそこからまたバスで他方面、町内を周遊するとか町外に行く、地方に行く、そういった使い方が今後出てくるのかなと思っていますんですけど、そういった中で方面設定の考えを計画の中に取り入れたりとか、また倉見駅につきましては、今、駅前広場は道路が非常に狭くて、大型バスが通れないようなところかと思っています。それに付きましても今後のまちづくりで考えていくんですが、例えば道路を広くしてバスが入れる、またバスの停留所が設けられるようなことも今後は考えていって、またそれを利用した倉見駅、寒川駅、宮山駅とか、そういったものがうまく循環できるような形になっていけばいいかなというのは考えてございます。

以上です。

**【天利委員長】** 横手委員。

**【横手委員】** 今、実は伺ったのは、もちろんＪＲ東海さんがメイン、これは十分分かっていますが、とはいえ、そういう意味でいうと、接続というところでちょっと距離が離れるかもしれないんですが、ＪＲ東日本の駅との連携みたいなもの、ちゃんと俯瞰で町を見たら絶対的に必要なものになってくるかと思っていますので、それについてどのように捉えているかというのを知りたかったところがありましたが、そこら辺はしっかりと考えていらっしゃるということが分かりましたので、今後もそのところだけは決して忘れることなくしっかりと検討材料の中で、念頭とは言いませんので、片隅にでもしっかりと入れておいていただければと思いますので、よろしく願いいたします。要望で結構でございます。

【天利委員長】 廣田部長。

【廣田拠点づくり部長】 ただいまの横手委員のご質問ですけれども、拠点づくり部としての考え方、そして県との取組状況を多少ご説明させていただくと、当然、JR東日本の倉見駅と新幹線新駅というのは交通結節点としなければならない状況にあります。

というのは、川部のほうからお答えもしましたが、県央・湘南都市圏の中心となると。県央・湘南都市圏を駅勢圏と捉えるといった中で、当然その辺の二次交通の方面設定、ネットワーク化というのが広域ベースで図られなければいけないとともに、町域においては今の倉見駅との結節点の強化ということで、これは神奈川県ともどういった距離感を、アクセス性を高めていくかといった検討も一部行っているところがございます。これについては当然、地元の方々との合意形成の状況によりますので、冒頭ご説明しました、今後、土地利用を支える骨格施設についてご意見を伺いたいとする中で、あわせてその辺の意見集約も図っていきたいと思います。

これらをベースとして、当然、地域公共交通会議、公共交通計画というのは都市計画の担当にはなりますが、そこも当然、今後、庁内の連絡調整というステージにおいて、協議の議題として、双方挙げて共通認識をしていかなければならないものだと現時点で既に承知しているところです。

以上でございます。

【天利委員長】 他にございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

【天利委員長】 それでは、これをもちまして質疑を終結いたします。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

---

【天利委員長】 休憩を解いて会議を再開いたします。

続きまして、案件2、その他でございますが、委員の皆様から何かご質問等がございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

【天利委員長】 それでは、事務局のほうはないですか。

(「なし」の声あり)

【天利委員長】 それでは、以上で全ての案件が終了いたしました。

これをもちまして、東海道新幹線新駅対策特別委員会を終了いたします。

最後に、副委員長のほうからよろしくお願いします。

【山田副委員長】 皆さん、お疲れさまでした。

これをもちまして、東海道新幹線新駅対策特別委員会を終了します。

午前9時27分 閉会

---

寒川町議会委員会条例第27条の規定により、ここに署名する。

令和4年6月2日

委員長 天利 薫